

所属・氏名（ 健康科学部 医療栄養学科 氏名：林 育代 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(著書)NEXT 健康管理概論 (第4版)	編者・ 著者	令和6年2月	講談社(東京)	著書全体の概要:世界の健康課題とWHOが目指す方向や日本の健康管理のためのシステムを理解し、各ライフステージにおける健康課題とその対策について解説している。 (総ページ数:208頁) 東あかね、關戸啓子、久保加織、林育代:編、相川悠貴、磯部由香、久保加織、久保七彩、古閑美奈子、小嶋美穂子、坂手誠治、關戸啓子、藤和太、中澤敦子、中谷素子、中西康弘、中村弘幸、林育代、東あかね、細名水生、丸谷幸子、明神千穂、渡邊智之:著 担当部分の概要:「3章 健康管理を担う機関と従事する専門職」を担当。
2	(学術論文) Association of a pro-inflammatory diet and gestational diabetes mellitus with maternal anemia and hemoglobin levels during pregnancy: a prospective observational case-control study 《筆頭論文》	共著	令和5年5月	Nutrition Research. 2023, 115, 38-46.	炎症を惹起しやすい食事パターンが妊娠中の貧血に関連し、さらに妊娠糖尿病でより貧血程度の強い者の割合が高いことを示した。本研究の結果は、炎症と代謝・血液指標のつながりに着目することで、従来の栄養教育では取り上げられなかった新たな栄養介入の標的を示した。本論文は、U.S. National health and nutrition examination survey 報告論文に引用されている。 (当該論文のページ数:9頁) Hayashi I, Sakane N, Suganuma A, Nagai N. 担当部分:データ収集、データベース作成、統計解析、データ解釈、論文執筆
3	(報告・発表)食事性炎症指数(Dietary inflammatory Index)と妊娠糖尿病は、妊娠中の貧血に関連する 《筆頭》	共同	令和5年7月	第59回日本周産期新生児医学会(名古屋)	新たな食事の評価指標である炎症性食事スコアを用い、妊娠性貧血と炎症食との関連を検討した。結果、抗炎症食が妊娠性貧血に予防的に働く可能性があり、新しい食事指導のあり方の可能性を示した。 林育代、坂根直樹、菅沼彰子、永井成美 担当部分:研究実施、抄録作成、ポスター作成、発表
4	(報告・発表)産後うつと妊娠性貧血との関連 《筆頭》	共同	令和5年11月	第22回日本栄養改善学会近畿支部会学術総会(奈良)	妊娠中期の貧血が産後うつに関連していた。一般的に貧血は鉄分摂取不足に関連させるが、産後うつの有無で鉄分摂取に差はなく、産後うつありで高炎症性の食事組成であった。抗炎症食が妊娠性貧血に予防的に働き、産後うつ予防の新しいエビデンスとなる可能性を見出した。 林育代、安彦 郁、住友 文、坂根直樹 担当部分:研究実施、データ分析、抄録作成、スライド作成、発表
5	(報告・発表)日常食品を用いた食事前摂取による血糖応答の違い 一健康女性を対象としたプレロード効果の検討ー 《筆頭》	共同	令和7年11月	第24回日本栄養改善学会近畿支部会学術総会(姫路)	健康女性における食事20分前の日常的な食品(バランスバーやヨーグルト)の食前摂取による血糖上昇抑制効果を検討したところ、ヨーグルトにその効果が認められた。この結果は、健康人だけでなく、妊娠糖尿病や糖尿病予備軍への応用が期待できる。 林育代、小林幸愛、有田真理、森久美子、田中愛佳、同道正行、坂根直樹 担当部分:研究デザイン、研究実施、データ管理、結果解釈、抄録作成、スライド作成

令和8年5月10日現在